

KOKKA TECHNO FORUM プログラム

講演1

基調講演 パナソニックインダストリー株式会社 GX戦略推進センター 所長 吉岡 功一氏
「エレクトロニクス業界におけるGXの最新動向」

本講演では、GX 戦略の背景にある政治事情を紐解きながら、ビジネスの現場でどのように GX の取り組みが進められているのか解説させていただきます。また、欧州議会選挙や米国大統領選挙の結果を踏まえた今後の GX の動向についてもご紹介いたします。

講演2

大阪大学 教授 舟木 剛氏
「ますます難しくなるパワーエレクトロニクス計測」

パワエレ機器は、小型軽量化だけでなく、高効率化が求められています。その評価のためには正確な電圧・電流の測定が必要です。本講演では最近のパワエレ計測の勘所について解説させていただきます。

講演3

阪和電子工業株式会社 代表取締役社長 澤田 真典氏
「電子機器組み立て工程内における、ボードに帯電した静電気放電現象について」

半導体の静電気耐性は、半導体の微細化に伴い低下しています。各種電子機器の内部には半導体をアッセンブリしたボードが搭載されており、電子機器の組み立て工程内でボードが静電気で破壊する事象が増えています。本講演では、ボードにおける静電気放電について、波形やボードの不具合について、ご紹介いたします。

講演4

菊水電子工業株式会社 営業本部 茂戸藤 寛氏
「SDGsな未来へ KIKUSUIからのご提案 ～双方向直流電源とアプリケーション事例等のご紹介～」

世界中でカーボンニュートラルに向けた動きが加速しており、モビリティに搭載される電装品は安全試験や、リップルノイズへの耐性強化が求められています。本講演は、当社製品事例の紹介をふまえた新しいご提案をご紹介いたします。

講演5

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター 試験事業部 事業部長 峯松 育弥氏
「パワーエレクトロニクスのEMC評価」

本講演では、カーボンニュートラルや脱炭素社会を達成する為に必要な、パワーエレクトロニクス応用機器のEMC規格動向とEMC評価法における注意点について解説いたします。